



私たちの家庭、信仰生活、日本の教会

ミカエル金神父



- 家庭での信仰について、韓国と日本の違い
- なぜ韓国ではカトリック信者が増えているのか

平和の鐘の原稿のテーマで私に与えられたものです。このテーマを見ながら頭の中に浮かんだのは、『未来』と言うことでした。ただの韓国についての関心だけではなく、日本の教会の未来に関する考えを分かち合いたいと思ったからです。この原稿を書きながら次の福音の御言葉をずっと黙想しました。

「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。だれでも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる。あなたがたのだれが、パンを欲しがると自分の子供に、石を与えるだろうか。魚を欲しがると、蛇を与えるだろうか。このように、あなたがたは悪い者でありながらも、自分の子供には良い物を与えることを知っている。まして、あなたがたの天の父は、求める者に良い物をくださるにちがいない。」マタイ 7:7～11

韓国で保護者の講座をしたことがあります。あるお母さんが『宗教を選択するのは自由なものだから、カトリックではなくても、子供が自分で自由に決めても良いのではないですか。』と言いました。私はこう答えました。もしそうだとしたら、何を食べるかも自由ですから、毒を食べてもいいですか。親という存在は、自分の子供に一番いいものを与えたいものでしょう。自分が持っている宝物を譲りたいでしょう。これは当然なこと、もっと言えば義務です。私たちが持っている信仰は自分自身の一番大事なこと、宝物です。ですから『次の世代に与えたい、譲りたい』と思うのも、当たり前で、もっと言えば義務です。

高校三年生の時に初めて両親に司祭になりたいと言いました。父親は厳しい人だから何も言わずに聞くだけでした。でも、母親は『神父と言えば、どんなに良いことができるよう、どんなに幸せになれるよう』と言ってくれました。これが神学校三年生まで大きな力になっていました。もしそこで母親に『神父って、大変だよ、あなたには難しいよ、厳しいよ。』と言われていたら私の召命はどうなっていたか分からないでしょう。

教会は自分の家族だけではなく、共同体全体で一つの家庭です。皆が皆の親になると同時に子供にもなっています。ですから教会で会う青少年を自分の子供にするように褒めてください。彼らに信仰は褒められるほど育つことだと教えてください。青少年を教会で見かけたら歓迎して喜んであげてください。

私は日本に来て、日本の信者さんの様子を見て感動しました。信仰を守って伝えるために皆一所懸命信仰生活をしていたからです。ですから、まだ若くて足りないこの外国人神父は先輩の信者さんを尊敬しています。

天国は成長しています。開いています。愛されています。また、愛するべきです。期待するべきです。希望するべきです。私たちと同じではないでしょうか。私たちも神様に支えられて成長して、開けて、愛されています。私たちもお互いに愛するべきです。期待するべきです。希望するべきです。私たちの家庭、信仰生活、日本の教会はこのように天国を向かっています。私たち一人ひとりが未来で天国の民です。



幟町教会共同体の 新しい組織体制が 始まりました



5月10日開催の2015年度信徒総会において、幟町教会共同体の新しい組織体制が承認され、宣教司牧評議会、活動連絡調整会議の開催や信徒代表ほかの役員が決定して、新体制が始動しました。

皆さまのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

1. 新組織体制について

(1) 宣教司牧評議会

教会法に従って幟町の宣教司牧に関する基本方針や基本計画の策定、その他の小教区の運営等に関する重要事項を審議決定する機関として設置します。

(2) 財務委員会

教会法に従って幟町の予算と決算、その他の財務に関する事項の審議を行い、主任司祭に答申する機関として設置します。

(3) 自主的・主体的に活動する活動組織

活動組織(ブロック会、ヨセフ会、マリア会、専門部など)が、より自主的・主体的に活動できる体制を目指します。

(4) 活動連絡調整会議

活動組織の円滑な活動のため、各組織の活動報告、組織間の協力、役割調整等の機

関として設置します。

(5)今年度は試行期間

早急に教会法に則った組織体制にするため、現行の幹事会を宣教司牧評議会、財務部を財務委員会、運営委員会を活動連絡調整会議とみなし、麴町教会の規程類を参考に活動します。

(6)信徒総会の名称と役割の変更

名称を信徒大会と改め、宣教司牧に関する基本方針・計画その他の重要事項、決算、予算、活動実績、活動計画等の報告と、信徒の研修、親睦の場とします。

(7)規程類の整備

今年度中に所要の規程類の整備を行います。

2. 宣教司牧評議員について

今年度の宣教司牧評議員(旧:幹事会)は7名で構成されています。



信徒代表 YH

この度、ヴィタリ神父様より信徒代表に推薦され、思いがけない大役に戸惑いましたが、神の思召しと受け留め、お引き受けしました。

皆が神様の愛のもとに、しあわせな人であるように祈りつつ、共同体に交わって行きたいと思っています。

今年度は組織体制を整えて、更なる福音宣教の促進・適正で健全な財務・グループ活動の活発化に努めてまいります。

神父様やシスター、兄弟姉妹の皆様のご指導とご協力をいただきながら、大切な教会の役に立てるように尽力する所存ですので、どうぞよろしくお願い致します。

副代表 YO

この度、信徒副代表を仰せつかりました O です。浅学菲才でその任に堪えられるか、はなはだ不安ではありますが、主任司祭のご指導をいただきながら、副代表と力を合わせ、代表を補佐してまいる所存です。みなさまのご支援とご協力を切にお願い申し上げます。

副代表 SM

副代表を仰せつかりました M です。副代表と協力して、代表を支えられるよう頑張ります。麴町教会の隆盛を目指して仕えてまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。



敬老会を開催

9月20日の敬老の日、70人の信仰の先輩たちを祝う敬老祝賀パーティーが開かれました。みなさん、和やかな笑顔に包まれ、楽しいひと時を過ごしました。



金銀祝を祝う

9月27日、夫婦で信仰を守ってきた8人の方々を祝う金銀祝の祝いの会が開かれました。



聖堂訪問記から

- ◆家族みんなで原爆ドームと平和記念公園に行ってから来ました。今回の旅行のテーマは、“平和・愛・生命”です。きれいなお御堂、心静かに祈りできてうれしかったです。パイプオルガンもすばしかったです。
- ◆神様いつもご加護していただきまして、本当にありがとうございます。周りの大事な方々の子どもと、世の中のたくさんの子どもたちも、元気で素直にたくましく、災い事が無く成長されますように。
- ◆どうぞ見守って下さい。母の病気、主人の健康、娘の結婚

これからの行事

- 教会バザー
11月1日(日) 10:45~14:00
- 七五三のお祝い
11月8日(日) 9:30 ミサ中
- 教区追悼ミサ
11月8日(日) 14:00 廿日市墓地
- 家庭大会
11月15日(日) 10:00~16:30 祇園教会
テーマ:「+信仰~やっぱり家庭から~」



編集後記

先日から新しい生活が始まりました。1つの秘跡を授かり、嬉しい気持ちで溢れています。そのことにより少しだけ福音宣教も出来たのかなと思いましたが。なかなかできない、福音宣教。身近な所から少しずつしていきたいと思えます。(さ)